

● 正誤表

平成 27 年 12 月号の地震・火山月報（防災編）に誤りがありましたので、正誤表を掲載します。

101 ページ

2015 年の日本の主な火山活動

- ・ 那須岳の本文 3 行目の記述（下線部を追記）

修正後	<p><u>9 月の現地調査では、茶臼岳付近の噴気や地熱域の状況に変化はなかった。</u>10 月の上空からの観測（栃木県消防防災航空隊の協力による）では、北西斜面の噴気地帯周辺で、地上からの観測と同様、析出した硫黄が多く確認された。</p>
修正前	<p>10 月の上空からの観測（栃木県消防防災航空隊の協力による）では、北西斜面の噴気地帯周辺で、地上からの観測と同様、析出した硫黄が多く確認された。</p>

102 ページ

2015 年の日本の主な火山活動

- ・ 新潟焼山の本文 1 行目～13 行目以降の記述（下線部を削除）

修正後	<p>山頂部東側斜面の噴気は、7 月頃から 2014 年の同時期に比べやや多いものの、高さは概ね 200m 以下で経過した。 地震活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。</p>
修正前	<p>山頂部東側斜面の噴気は、7 月頃から 2014 年の同時期に比べやや多いものの、高さは概ね 200m 以下で経過した。 地震活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。 <u>9 月の現地調査では、茶臼岳付近の噴気や地熱域の状況に変化はなかった。</u>10 月の上空からの観測（栃木県消防防災航空隊の協力による）では、北西斜面の噴気地帯周辺で、地上からの観測と同様に、析出した硫黄が多く確認された。また、赤外熱映像装置による観測では、茶臼岳西斜面（無間地獄）、北西斜面、南西の牛ヶ首付近の噴気地帯周辺で引き続き高温域を確認した。</p>